

3R

Anyty™

ABBYY Screenshot Reader のインストール

ABBYY Screenshot ReaderはOCR（光学文字認識）が可能なソフトウェアです。こちらの文書ではインストールと画像の読み込みについてご紹介させていただきます。

読み込みの参考画像として下記のスキャン画像を例と致します。
弊社ハンディスキャナで画像を準備する場合はカラー設定はモノクロでスキャンを行うことをおすすめします。

3R 製品情報局 Bluetooth 搭載携帯式ハンディスキャナー Anyty Wireless Handy Scanner 3R-HSA670BT

出来る
ビジネスマン・ビジネスウーマンは
時間が命!

出張時一秒たりとも無駄に出来ません。
外出先でコピー機やFAXがあれば良かった・・・
と過去に一度でも思われた方にオススメグッズのご案内です。

Bluetooth 搭載携帯式ハンディスキャナー

- ソフトウェアのインストール
- ソフトウェアの起動と画像の読み込み

● ソフトウェアのインストール

OCR機能を使用するにはCDから「ABBYY Screenshot Reader」をインストールする必要があります。以下はインストール時の操作をWindows XPの場合を例にして記載いたします。

① ABBYY Screenshot ReaderのインストールCDをパソコンの光学ドライブにセットします。自動的にインストールプログラムが自動起動します。

※ セキュリティソフトの動きやWindowsの動きによってインストールプログラムの自動起動がブロックされることがあります。

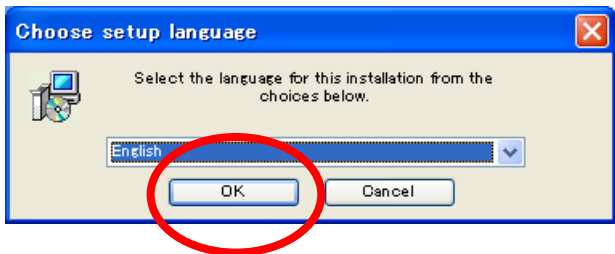
その場合は

「マイ コンピュータ」をダブルクリックしてABBYY Screenshot Readerのアイコンを右クリックし、「開く」をクリックして下さい。

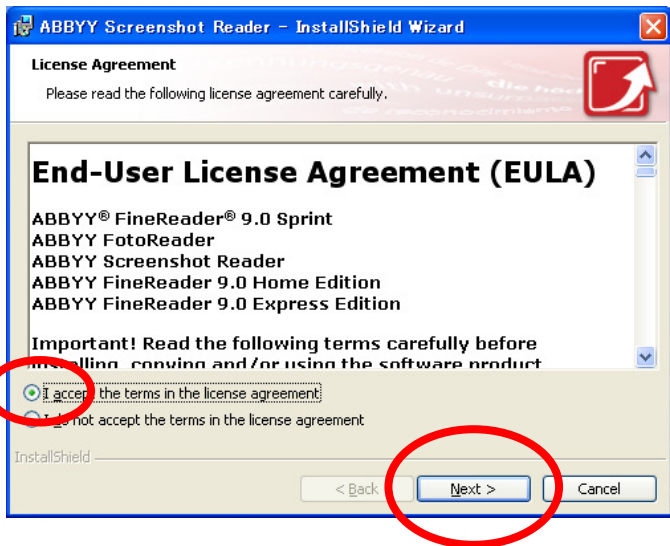


② インストール時の言語を選択する項目が表示されますのでプルダウンメニューから「English」を選択して「OK」をクリックします。

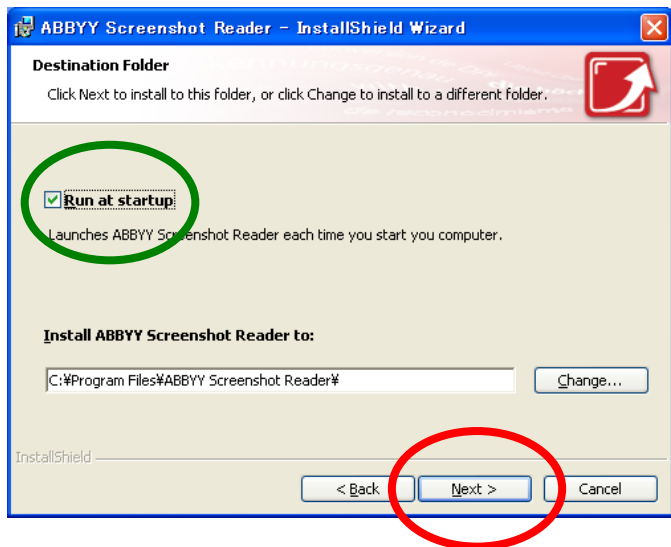
※ 本ソフトウェアのインストールプログラムは日本語には対応しておりません。



- ③ ABBYY Screenshot Readerのライセンスプログラムが表示されますので上の項目にチェックを入れて「next」をクリックします。

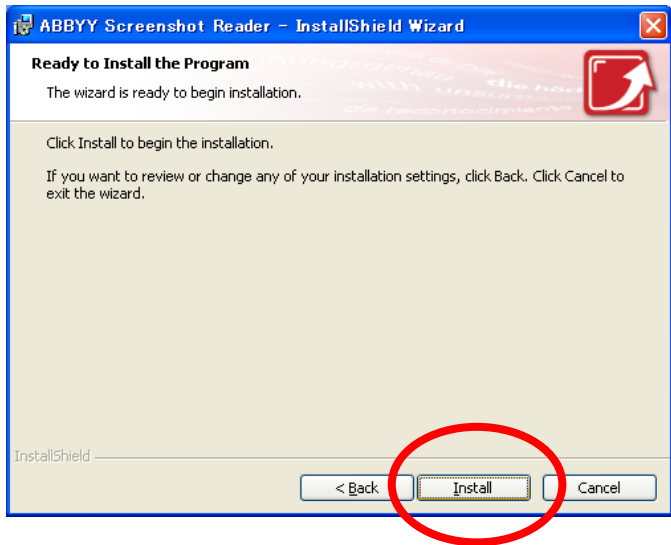


- ④ インストールパス（フォルダ）を指定するウィンドウが表示されます。通常は変更する必要はございませんのでそのまま「Next」をクリックして下さい。



自動的に「Run at startup」のチェックが入ります。
インストール後手動でABBYY Screenshot Readerを起動したい場合は
チェックを外してください。

- ⑤ 「Install」をクリックするとインストール作業を開始します。インストール終了までに環境によっては数分間必要ですので作業終了までそのままお待ち下さい



- ⑥ 下記のウィンドウが表示されたらインストール作業は完了です。最後に「finish」をクリックするとインストール完了です。



● ソフトウェアの起動と画像の読み込み

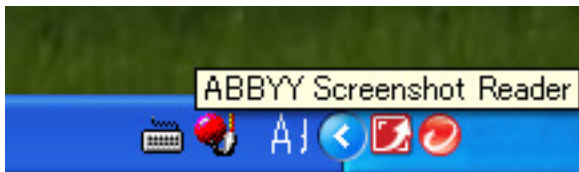
ABBYY Screenshot Readerのインストールが完了するとパソコンの起動時に自動的にABBYY Screenshot Readerが起動するようになります。

手動で起動を行う場合は

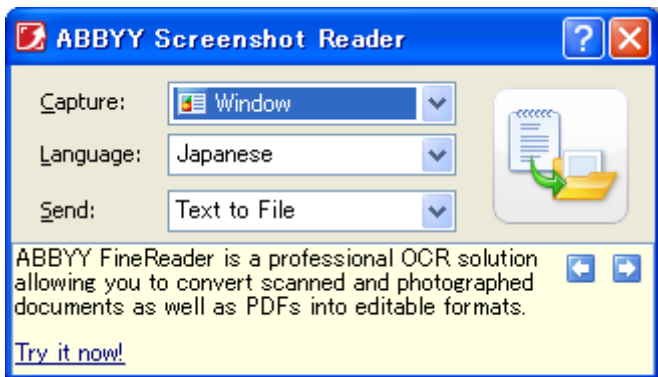
デスクトップ左下のスタートメニューより「すべてのプログラム」をクリックし、「ABBYY Screenshot Reader」フォルダ内の「ABBYY Screenshot Reader」をクリックして起動して下さい。



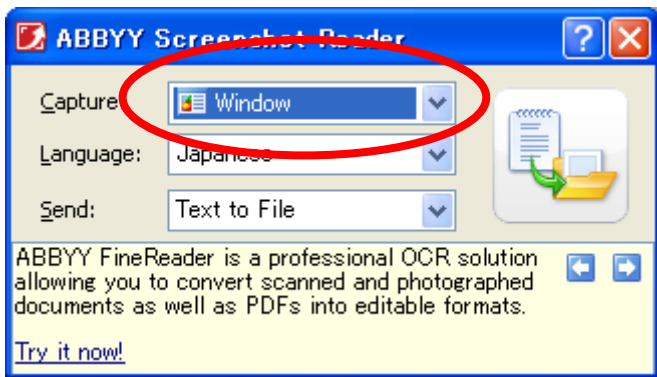
ABBYY Screenshot Reader 起動時はタスクバーにABBYY Screenshot Readerのアイコンが表示されています。



- ① タスクバーのABBYY Screenshot Readerアイコンをダブルクリックします。以下のようなウィンドウが表示されます。
これはOCRを行うときの設定画面です
次のページよりそれぞれの項目を設定します。

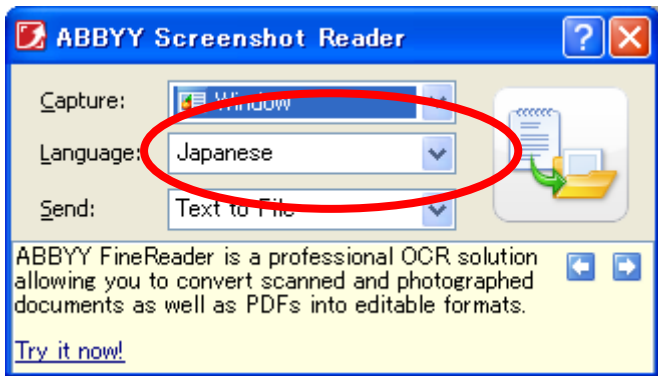


- ④ 最初は「capture」の項目です。OCRを行う範囲を決める設定項目です。こちらの文書では「Window」を使ってOCRを行います。



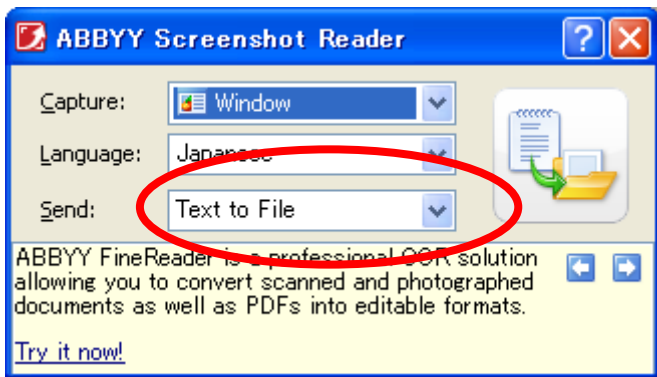
- Area ~ デスクトップの画面でOCRで変換したい範囲をマウスのカーソルで指定します。
- Window ~ 画像を表示しているデスクトップのウィンドウを指定し、指定したウィンドウの画像にOCRを行います。
- Screen ~ 実行したときのスクリーン全体の画面からOCRを行います。
- Timed Screen ~ 実行したときのスクリーン全体の画面からOCRを行います。
実行までに5秒間タイマーが設定されます。

- ⑤ 次にLanguageの項目を設定します。これはOCRを実行するときどの言語（文字）として認識を行うかを設定します。



Japanese ~ 日本語（漢字、ひらがな、かたかな、アラビア数字など）として変換を行います。アルファベットはただしく変換することができません

⑥ 最後にSendの項目を設定します。この項目はOCRを実行した結果をどのように返すかを選択します。この文書では「Text to File」を使用します。



Text to File ~ OCRを実行した後に結果を
テキストファイル（メモ帳）などで保存します。

Text to Microsoft Word

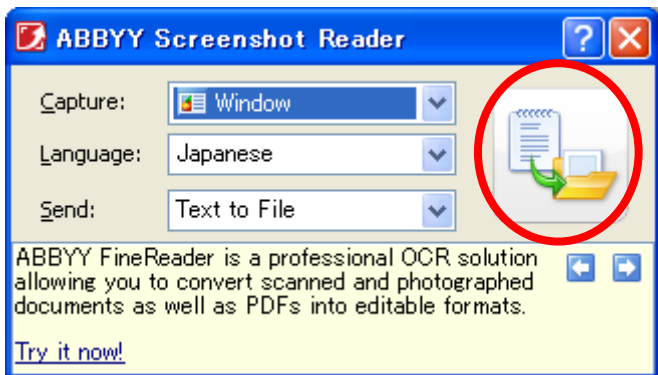
Text to Microsoft Excel

~ OCRを実行した後に結果を
ワードやエクセルを直接起動して表示します
送り先のソフトがインストールされていることが必要で
す。また環境によっては正しく動作いたしません。

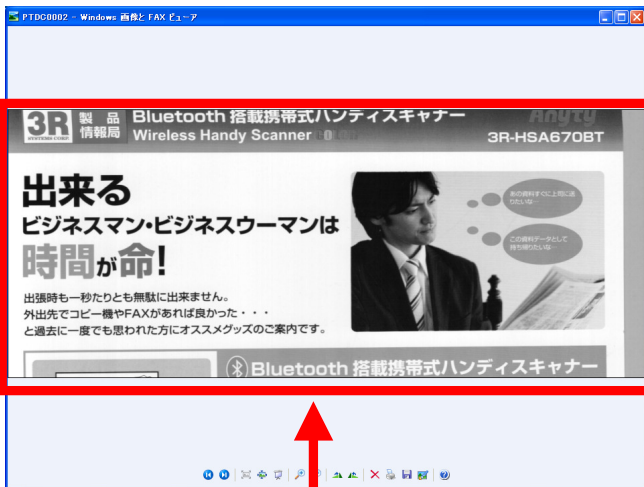
- ⑦ 3つの項目の設定が完了したらスキャナなどで保存した画像をパソコンで表示を行います。
保存した画像のアイコンをダブルクリックするか
右クリックより「開く」をクリックして
デスクトップ上に表示させてください。



- ⑧ デスクトップに画像を表示させたらABBYY Screenshot Readerのウィンドウ右側のアイコンをクリックして下さい。

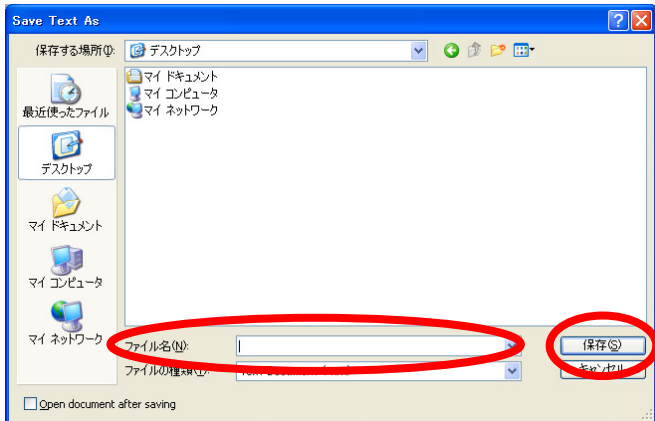


- ⑨ アイコンをクリックするとマウスのカーソル（矢印）の表示が変わります。カーソルが変わったら⑦番で表示させた画像の範囲で左クリックします。

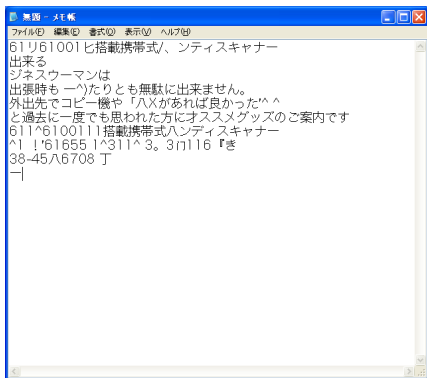


画像の範囲で
左クリック

- ⑩ OCRが実行され、変換作業後に「名前をつけて保存」ウィンドウが表示されます。保存する場所と名前を記入して「保存」をクリックすると保存を完了します。



- ⑪ 作成したファイルを開くとOCRを行った結果がテキストデータで保存されます。修正後コピー&ペーストなどで他のソフトウェアで使用します。



- ※ もとの画像データのフォントや文字サイズは保存されません。
- ※ 元のデータの内容やスキャン画像などによってOCRの精度は変化します。